

科目名	アニメーション実習D							年度	2026
英語科目名	Animation Practice D							学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース 3年次	必/選	選5	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	寒川歩	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アニメーター		
【科目の目的】 アニメ制作工程別の専門知識と作画技法の理解を進める									
【科目の概要】 専攻別でアニメーション制作工程ごとの就職に必要な専門ツールや技法を習得します。									
【到達目標】 卒業制作を完成させる工程を通して昨年度の制作の反省や改善点を考慮しながら、制作グループ内での役割分担や仕事の配分を制作スケジュールや内容に落とし込み修学の集大成となる作品作りをすることで自らの技術をより伸ばすことを目標とします。									
【授業の注意点】 制作の打合せ等で声を発する場合は周囲の学生への配慮を忘れないこと。長時間の打合せは教員に申請・許可を得ること。 授業理解度・課題制作の進捗状況により授業内容を入れ替えることがあります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	アニメーションの基本 原理とアニメーション制作 の基本的な技法について 理解することで、アニメ の制作過程と視覚的な効果 を把握できます。			アニメーションの基本 原理とアニメーション制作 の基本的な技法について 理解することができる				アニメーションの基本 原理とアニメーション制作 の基本的な技法について 理解不足	
到達目標 B	アニメーション制作のプロ セスについて理解し、 制作に応用できる			アニメーション制作のプロ セスについて理解でき る				アニメーション制作のプロ セスについて理解でき ていない	
到達目標 C	アニメーション多様なス タイルやジャンル、表現 手法と演出手法を知ること ができ、制作に活かせる			アニメーション多様なス タイルやジャンル、表現 手法と演出手法を知ること ができる				アニメーション多様なス タイルやジャンル、表現 手法と演出手法について 理解していない	
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 参考書・参考資料等は授業中に指示する									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 授業時間内に行われる課題制作、内容について評価する他、積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アニメーション実習D			年度	2026		
英語表記		Animation Practice D			学期	後期		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価		
1	企画準備	卒業制作の制作工程の確認	1 制作工程の確認	卒業制作の大まかな流れが理解できる。	3			
2	修了制作(1)	作画打ち合わせの確認すべき点、絵コンテで読み取るべき点を学ぶ	1 打ち合わせ内容などの確認	必要素材や、注意点を把握することができる。			3	
3	修了制作(2)	レイアウト作業の基礎を学ぶ	1 レイアウト基礎	レイアウトを作成する際に抑えておくべき点を身に付け作品制作に反映することができる				
4	修了制作(3)	レイアウト作業の基礎を学ぶ	1 レイアウト基礎	レイアウトを作成する際に抑えておくべき点を身に付け作品制作に反映することができる	3			
5	修了制作(4)	レイアウト作業の基礎を学ぶ	1 レイアウト基礎	レイアウトを作成する際に抑えておくべき点を身に付け作品制作に反映することができる			3	
6	修了制作(5)	原画作業の基礎を学ぶ	1 原画基礎	原画制作をする際のスキルを身に付け自身の制作に反映する				
7	修了制作(6)	原画作業の基礎を学ぶ	1 原画基礎	原画制作をする際のスキルを身に付け自身の制作に反映する	3			
8	修了制作(7)	原画作業の基礎を学ぶ	1 原画基礎	原画制作をする際のスキルを身に付け自身の制作に反映する			3	
9	修了制作(8)	動画作業の基礎を学ぶ	1 動画基礎	動画作業をする際に必要になる考えを身に付け制作に反映させることができる				
10	中間ラッシュチェック	全体の進行の確認と見直しをする	1 進捗確認	作品全体のクオリティ向上や修正点を見つけることができる	3			
11	修了制作(9)	動画作業の基礎を学ぶ	1 動画基礎	動画作業をする際に必要になる考えを身に付け制作に反映させることができる			3	
12	修了制作(10)	動画作業の基礎を学ぶ	1 動画基礎	動画作業をする際に必要になる考えを身に付け制作に反映させることができる				
13	修了制作(11)	動画作業の基礎を学ぶ	1 動画基礎	動画作業をする際に必要になる考えを身に付け制作に反映させることができる	3			
14	修了制作(12)	全体の進行の確認と見直しをする	1 チェック作業	作品全体のクオリティ向上や修正点を見つけることができる			3	
15	まとめ	終了制作の講評を受ける	1 講評	今後の制作などに活かせる考え方を養うことができる				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等